

伊勢湾貧酸素情報（第 4 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、三重県側に広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

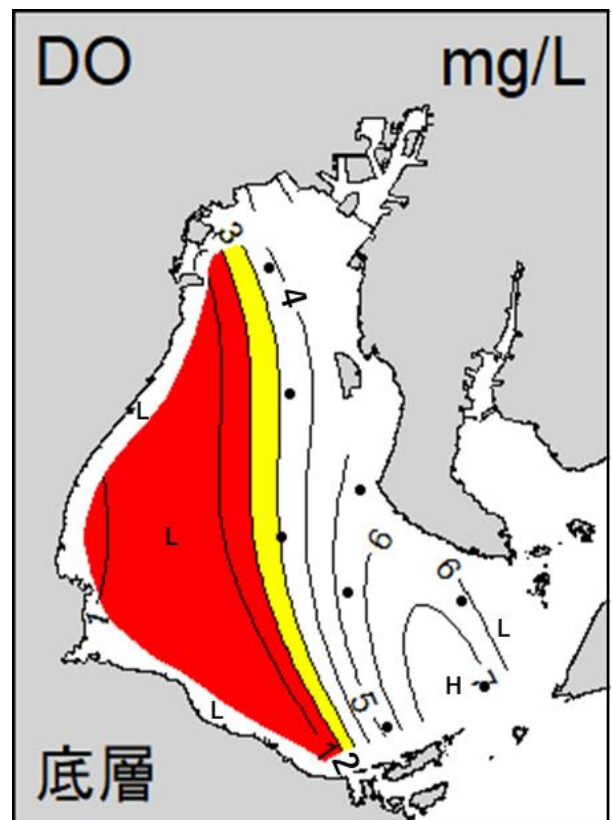
9 月 4 日の調査結果

9 月 4 日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で 25.1～28.8℃、10m で 21.7～25.0℃、底層で 20.2～24.4℃の範囲にあり、表層は平年より高め、10m と底層は平年よりやや低めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.5～11.6ppm、10m で 1.2～6.7ppm、底層で 0.0～7.1ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m で平年よりやや低め、底層では平年より高めとなっていました。

底層では三重県の沿岸域に沿って広い範囲で 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されています。

表層と底層の水温差などは小さくなってきていますが、まだ海水の上下混合が起こりにくい環境にあり、しばらく貧酸素状態は継続するものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図